

## FAO / WHO 合同食品規格計画

## 第 17 回アジア地域調整部会

日時： 2010 年 11 月 22 日（月）～11 月 26 日（金）

場所： ジョグジャカルタ（インドネシア）

## 仮議題

1.	議題の採択
2.	コーデックス総会及びその他の部会からの付託事項
3.	ステップ 7 での規格案の検討
3(a).	さご椰子粉の地域規格案
4.	ステップ 4 での規格原案の検討
4(a).	非発酵大豆製品の規格原案
4(b).	チリソースの地域規格原案
5.	アジア地域調整部会の戦略計画の進捗
6.	地域に関連する課題
7.	各国の食品管理システム及び食品規格策定における消費者の参画
8.	テンペ及びテンペ関連製品に関する討議文書
9(a).	コーデックス委員会の作業を補完する FAO/WHO の活動
9(b).	コーデックス信託基金の中間評価の結果
10.	各国及び地域レベルにおけるコーデックス規格の使用
11.	地域における栄養問題
12.	地域調整国の指名
13.	その他の事項及び今後の作業
14.	次回会合の日程及び開催地
15.	報告書の採択

## 第 17 回アジア地域調整部会 (CCASIA) の主要議題

### 1. 開催日及び開催場所

日時： 2010 年 11 月 22 日 (月) ~ 11 月 26 日 (金)

場所： ジョグジャカルタ (インドネシア)

### 2. 主要議題の内容

#### 議題 2 総会及び他の部会からの付託事項

##### プライベートスタンダードのインパクト

第 33 回総会は、プライベートスタンダードについて議論した結果、各地域調整部会に対してプライベートスタンダードに係る問題について議論し、また、その経済的影響について分析し、必要な勧告を第 34 回総会 (2011 年) に対して示すよう求められている。

我が国としては、コーデックス委員会がプライベートスタンダードに係る問題に対処できる事項は限られてはいるが、国際貿易における食品の基準のベンチマークであるコーデックス基準の策定をさらに促進することが重要であるとの立場で対応したい。

##### プロセスチーズの規格原案

プロセスチーズの規格の策定について、第 9 回乳・乳製品部会 (2010 年 2 月) は、特にチーズ含量についてコンセンサスが得られないことなどから作業を中止することを合意し、総会での承認を求めたが、第 33 回総会 (2010 年 7 月) は、多くの国が作業中止に反対し、また、南米、アフリカ及び近東諸国の関心が高いことを踏まえ、作業中止の決定を保留し、各地域調整部会に対し、地域規格の必要性及びその範囲について検討し、その結果を踏まえ第 34 回総会が作業中止について最終決定をするとされたもの。

国際的に流通する食品については、地域規格を策定することは不適當であるとの立場で対応したい。

##### 物理的作業部会への対応に関する選択肢

物理的作業部会の作業の改善に向け、参加人数を制限すること等の選択肢について、地域作業部会に照会されたもの。

第 33 回総会における我が国の対応と同様、物理的作業部会への参加人数の制限は、コーデックスへの参画を促進することを掲げているコーデックス戦略計画 Goal 5 の理念と矛盾するものであり適切でないとの立場で対応したい。

##### 規格化された食品の一般名称の他の食品への使用

第 37 回食品表示部会（2009 年 5 月）では、特に栄養を強化するために製品の構成要素を変えた場合であって、コーデックス又は各国の規格で定義された改変前の製品の名称を使う際に、どのような条件が必要か、食品表示部会として新たな品目横断的ガイドラインを作成すべきかどうか議論された。しかしながら、議論の結論は出ず、各地域調整部会に対して意見を求めるべきとされたところである。

国内制度との不整合が生じないかどうか留意しつつ、新規作業とすることについては反対しないとの立場で対応したい。

### 議題 3 ステップ 7 での規格案の検討

#### 3(a) さご椰子粉の地域規格案（新規作業採択：2007 年）

前回会合では、我が国への輸入実績のある「さごでん粉」が当該規格の対象とならない点が明確にされた。今次会合においては、「さご椰子粉」への使用が認められる食品添加物の値などが議論される予定である。食品添加物部会などの他の部会での議論と整合した内容となるよう対応したい。

### 議題 4 ステップ 4 での規格原案の検討

#### 4(a) 非発酵大豆製品の規格原案（新規作業採択：2005 年）

前回会合では資料配布の遅れのため議論はなされず、電子作業部会（議長国：中国）において原案を検討することとされた。その後、第 62 回執行委員会（2009 年 12 月）からは、規格の対象が広いことに対し、作業速度の観点から、アジア地域に重要かつ規格化しやすい製品を第一段階として検討すべきと勧告された。しかし、現在中国が準備している原案は、依然として、第 15 回部会（2005 年 11 月）でたたき台にすることとされた 4 つの製品（豆乳類、豆腐類、乾燥豆腐類、湯葉類）全てが対象となっている。

我が国としては、詳細に規格の内容を議論する前に、執行委員会からの勧告を尊重しつつ、対象とする製品について部会の合意を得ることが必要との立場で対応したい。さらに、仮に部会の総意として規格の詳細に議論が及ぶ場合には、国際的な貿易に新たな混乱をもたらすことにならないよう対応したい。

#### 4(b) チリソースの地域規格原案（新規作業採択：2007 年）

チリソースには、チリ（トウガラシ類）をベースとした製品とトマトをベースとした製品があり、いずれも国際的に流通している。前回会合で提示された定義や表示の規定案では、我が国において主要なトマトベースの製品も対象とするとの我が国の基本方針は確保された。また、多様な製品を網羅するよう、電子作業部会（議長国：タイ）において、品質要件等の詳細（製品の pH や、辛味の程度を記載するかどうか等）を検討し原案を改訂することとされた。

今次会合に向け配布された規格原案は、各国のコメントが十分に反映され

た包括的なものとなっている。部会での追加コメントによりトマトベースの製品が排除されないよう留意しつつ、今次会合で部会の最終的合意が得られるよう対応したい。

#### **議題6 地域に関連する課題(Issues relevant to the region)**

前回会合では、地域調整部会の現在の TOR において、「(コーデックスの) 戦略的事項について地域の見解の採択を促進する」ことが可能であるとの共通認識が得られ、さらに、アジアメンバー国の懸念事項を議論するため、新たに本議題を常設することが合意された。今次会合では、総会から付託された事項に加え地域規格策定の提案が多く予定されており、アジアメンバー国の個別の関心事項を議論するだけの十分な時間が得られない可能性はあるものの、我が国としては、全地域で共通の関心事項について、類似の気候や食文化を有するアジア地域各国間で議論して必要に応じ意見を集約することが重要との立場で対応したい。

#### **議題8 テンペ及びテンペ関連製品に関する討議文書(提案国: インドネシア)**

前回会合では、議場配布資料にて提案がなされたものの、各国内において事前に検討する時間がなかったこと、「作業の優先順位付けのための規準の適用に関するガイドライン」に照らして十分な情報が提供されていないことから、内容についての議論はなされなかった。

今次会合に向けてインドネシアが作成したプロジェクトドキュメントでは、依然として、前述のガイドラインで必要とされている情報が不足している。新規作業を提案する場合には、十分な情報を提供すべきとの立場で対応したい。

#### **議題 9(b) コーデックス信託基金の中間評価の結果**

2004 年から 12 年間の予定で実施されているコーデックス信託基金 (CTF) について、今後の使用に際し、以下のような点が議論されることとなっている。

重点とすべき目標を 1 (コーデックス各会合への物理的参加) から 2 (コーデックスへの参画の全般的・総合的な強化) 及び 3 (コーデックスへの科学的・技術的な参画の強化) に移すべきか。

支援を受ける国の選定規準を見直すべきか。

信託基金の実施期間を延長すべきか。

我が国は、これまでの主張のとおり、現行の選定基準や基金の用途を変更すべきではなく、また、信託基金の有効性を判断するために、これまで具体的にどのような成果がもたらされているかを示す詳細な情報が共有される必要があるとの立場で対応したい。

#### **議題12 地域調整国の指名**

現在、地域調整国はインドネシアが 2 期目を務めている。ルール上、地域調整国は継続して 2 期までとされていることから、部会として、次期地域調整国

を新たに推薦する必要がある。

コーデックスにおける議論に関し、アジア地域の各国がより建設的に対応していくべきとの観点から、我が国が調整国となることも視野に入れつつ、いずれの国が推薦されても積極的にその活動に協力するとの立場で対応したい。

### **議題13 その他の事項及び今後の作業**

韓国から、ゆず茶及び海苔製品の地域規格について、新規作業提案がなされる見込みである。「作業の優先順位付けのための規準の適用に関するガイドライン」に照らし、規格化の必要性について精査すべきとの立場で対応したい。